

◇栃木県における宇都宮市、芳賀町が進めるLRTの意義

1. 宇都宮・芳賀LRTは、県央地域の東西交通軸となり、鉄道やバス等と連携することで、**利便性の高い広域的な公共交通網の実現**に大きな役割を果たす。
2. LRT導入により、公共交通全体の利用分担率が高まり、**公共交通のサービスレベルの維持・充実につながる**ことが期待できる。
3. LRT導入は、渋滞の激しい鬼怒川渡河部における**通行の定時性を確保**するものであり、**県道機能の拡充に資する**。
4. 本県の経済を牽引する鬼怒川左岸地域の交通環境が改善されることで、当該地域の立地企業のみならず県内各地の企業活動への波及効果も期待でき、**地域振興や産業経済の活性化などによる県勢発展に資する**ものである。



LRTは、県民はもとより全国・海外からの来訪者にも魅力ある交通手段を提供するもので、栃木県に元気をもたらし「選ばれる“とちぎ”」に向けて大きな力となるものであることから、栃木県としても早期実現を支援します。



将来のために・・・

「公共交通」は、多様な人の移動を支える公共的なインフラ

- ◇ 少子高齢化の急速な進行
⇒ こどもからお年寄りまで、すべての人の生活の足を確保していくことが不可欠
- ◇ 街なかや地域の衰退
⇒ ユニバーサルデザインの移動手段を軸としたまちづくり、地域づくりが有効
- ◇ 地球規模での環境問題の顕在化
⇒ 環境負荷の少ない交通手段を積極活用していくことが必要

将来の自分や次世代のこどもたちのためにも・・・

公共交通を**全員参加で創り守り育てていく**ことが重要

※県や市町、交通事業者が連携し、利用者(市民)と協働して取組推進

